





# 首都圏の中のおかやま

## 「原田直次郎と散歩のすゝめ」

今回、ひよんなことから明治期の洋画家原田直次郎(1963-99)についての文章を寄稿することになり、いろいろ調べてみたところ大変、おもしろい人物だったことを知りました。その一端をみなさんと共有したいと思います。



岩倉使節団の『侍とスフィンクス』の写実はあまりにも有名。この中に原田一道も写っている。

直次郎の父・一道は備中国鴨方藩の生まれで、岩倉使節団の一員として、いち早くヨーロッパに学んだ人物でした。次男の直次郎も幼いころから漢学やフランス語など、超エリート教育を受けます。一道は役人ではありませんでしたが、とてもリベラルな人物であつたらしく、息子にも希望通りの教育を受けさせます。美術の道へ進むことを決めた直次郎は、兄で地質学者の豊吉のあとを追って、私費でドイツに留学しました。

このように直次郎の半生を紹介すると、ものすごく有名な画家なのだろうと思われまふ。しかし、原田直次郎と聞いてすぐに作品を思いだせる方は少ないでしょう。それもそのはず、早逝の上にほとんど評価されてきませんでした。美術界でも、1909年の「没後十周年記念遺作展覧会」から107年ぶりに開催された回顧展「原田直次郎展―西洋画は益々奨励すべし」(2016年)まで、詳しく知られていませんでした。

しかし、東京在住の皆様には東京国立近代美術館(東近美)で『騎龍観音』(重要文化財)を見たことがある方も多いのではないのでしょうか。龍に乗って現れる観音像が描かれたこの油画は、東近美に展示されている大量の作品群の中でも異彩を放っています。そのため、第三回内国勸業



原田直次郎  
《騎龍観音》1890年 油彩、  
キャンパス272×181 cm、  
護国寺蔵  
(東京国立近代美術館寄託)

博覧会に出品された当時、東京帝国大学教授の外山正一から大変な批判を浴びました。その批判に対して擁護側の論陣を張ったのが盟友・森鷗外でした。

鷗外と直次郎はドイツ留学時代に出会っています。鷗外のドイツ三部作の一つ『うたかたの記』の画学生・巨勢のモデルは直次郎です。帰国後、鷗外は医学研究者として政府の要職を歴任しますが、一方の直次郎は日本画を称揚し洋画を排斥しようとする岡倉天心らと敵対したため、私的な画塾・鐘美館を経営する程度でした。

その上、体調を崩したため鐘美館での後進育成も約6年程度しか続きませんでした。いまでは建物も全く残っていませんが、今回、明治期の地図を見ながらその場所を探し出しました。当時の住所では本郷六丁目とありますが、現在は本郷五丁目です。完全に民家になっていたので、詳しい住所や写真を掲載することはできませんが、東京大学赤門前にあるスタジオ写真スタジオと岡本薬局の間の道が入って一つ目の三叉路右手、とだけ書いておきます。



写真スタジオと薬局のあいだの道に入りましょう。鐘美館はありませんが、なんとなく風情があります。

本郷キャンパスは散歩に最適です。自由に出入りできます。鐘美館があつた通りの目の前には東京大学総合研究博物館があり無料で入館できます。歴代東大教授たちの肖像画や自然科学の研究に使われた標本など、変わったものを見ることが出来ます。岡山に関係するものでは、赤門をくぐってすぐ右手に福武総一郎氏の支援で作られた「福武ホール」(安藤忠雄建築)があります。また、現在では鷗外よりもよく読まれる国民的小説家・夏目漱石の『三四郎』から名付けられた三四郎池もあります。ただし、この三四郎池、鬱蒼とした森の中にあるので怖い。一時期、外来種のカメが生息しており、立ち入りが禁止されていました。覚悟して急な階段をおりましょう。



さすがは東大生、「福武ホール」には目もくれず読書しながら歩いています。







### ☆☆☆ 女性部だより ☆☆☆

東京岡山県人会女性部は、県人会の女性会員を中心に平成18年に発足。総会、勉強会、岡山旅行、クリスマス会・納会と、年間を通じて様々なイベントを実施しています。

去る5月28～29日、1泊2日で矢掛町、倉敷市を訪問しました。初日は矢掛町を訪問し、江戸時代の宿場町の風情が残る町並みの散策の後、飛び始めた蛍の鑑賞をしました。

翌日は、倉敷市を舞台にした映画「ひるね姫」のゆかりの地を訪ねるスタンプラリーに参加。鷺羽山からの雄大な景色を鑑賞した後、江戸から明治にかけて北前船で栄え、現在は漁業の町として知られる港町の下津井で名物のタコ料理を味わいました。繊維の町 児島では児島学生服資料館やジーンズミュージアムを訪問し、繊維産業の歴史や製造工程を学び、JF岡山県漁連水産物直売所ふゆ〜ちあ〜では新鮮な海産物や水産加工製品のお買い物、と岡山の魅力を再発見した旅でした。

#### <今後の予定>勉強会

日 時：平成29年9月30日(土) 16時頃から(予定)

場 所：アンテナショップ「とっとり・おかやま新橋館」

内 容：未定

講 師：箏曲家 砂崎知子さん

連絡先：TEL 03-5212-9080

県人会女性部事務局(岡山県東京事務所内) 岡本

平成29年5月28日～29日(岡山旅行)



鷺羽山



児島学生服資料館

### ◇◇◇ 吉備クラブ通信 ◇◇◇

吉備クラブは、岡山県出身の各界で活躍されている先輩方と若い世代の交流の場として、毎年3回開催しています。

7月10日に開催した第35回吉備クラブでは、山海嘉之氏(筑波大学大学院教授、サイバニクス研究センター長、内閣府IMPACT PM、CYBERDYNE(株)社長/CEO)を迎え、「サイバニクス最前線～人とテクノロジーが共生する社会～」と題してお話いただきました。100名を超える方々にお集まりいただき、続く交流の部でも、参加者全員がなごやかなムードのなかで交流を深めることができました。お忙しいところ、ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

今回の吉備クラブは次のとおり開催予定です。皆様、お誘いあわせの上、次回も是非お越しください。

#### <次回の開催予定>

日 時：平成29年11月7日(火) 18時30分から20時30分

場 所：KKRホテル東京11階 孔雀

講 師：宮内庁長官 山本 信一郎 氏

演 題：未定

参加費：6,000円(交流会費含む)

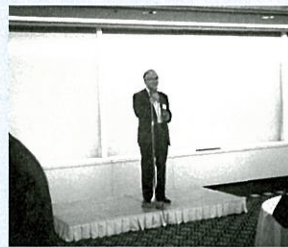
連絡先：TEL 03-5212-9080

吉備クラブ事務局(岡山県東京事務所内) 神田

平成29年7月10日(第35回吉備クラブ)



講演の様子



懇談(香山世話人 挨拶)

## 事務局からのお知らせ

### ■新規会員の募集

県人会では、新しい会員を随時募集しています。岡山県出身者や勤務経験等のゆかりのある方その他、岡山県を応援する方など入会の希望がありましたら、事務局までご連絡ください。東京岡山県人会ホームページからも入会申込ができます。年会費は2千円です。

### ■住所等変更手続

県人会では、会員の皆様に観光、特産品等の情報提供や、会員名簿の配布などを行っています。住所などが変わられましたら、必ず事務局までご一報ください。

### ■メールマガジンの配信(会員以外もOK)

ふるさと岡山に関するイベントの情報等を配信しています。登録(変更)を希望される方は、①氏名②住所③電話番号④E-mailアドレスを、メールまたはファックスで事務局までお知らせください。

### ■連絡先

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館10階 岡山県東京事務所内 東京岡山県人会事務局  
TEL: 03-5212-9080 FAX: 03-5212-9083  
Eメール: tokenjinkai@pref.okayama.jp

## 平成29年度 東京岡山県人会総会 岡山県人の集い

●日時／平成29年9月1日(金)

●18:00～20:00

●会場／8,000円

●場所／ザ・キャピトルホテル東急  
1階大宴会場「鳳凰」

東京都千代田区永田町2-110-13  
TEL 03-3503-0109  
国会議事堂前駅・溜池山王駅6番出口 地下直結